

文翔館の 石屋根を語る

おがっ
雄勝スレート
を
いただ
戴く建造物

令和4年

10/8 (土) 13時開演

山形県郷土館「文翔館」議場ホール
入場無料・要申込 (詳細は裏面をご覧ください)

第一部 雄勝のスレート

阿部 正 氏

- ・近代洋風建築の屋根のこれまで
- ・雄勝石盤の歴史と雄勝天然スレートのいま
- ・文翔館にみる天然スレート屋根の特徴 など

第二部 石盤葺の手わざ

阿部 正 氏 × 佐々木 信平 氏 × 文翔館 館長

文化財の保存に欠かすことのできない石盤葺は、無形の「手わざ」によって支えられています。国選定保存技術保持者としてその伝統を継承する佐々木氏のお話を中心に、脈々と受け継がれる職人の技術と心得に迫ります。

体験会 雄勝スレートに触れてみよう！

実際に文翔館の屋根に葺かれていたスレートを手に取り、専用の道具で裁断(カット)する体験会です。信玄石盤工場の皆さんが指導します。実物の重みと感触をお楽しみください。カットしたスレートはお持ち帰りいただけます。



山形県旧県庁舎及び県会議事堂(文翔館)の屋根に輝くのは、日本産スレートのメッカといわれる宮城県石巻市雄勝産の天然スレート。原料である雄勝石の歴史は室町時代にまでさかのぼり、古くは硯の名品を生み、明治以降は東京駅丸の内駅舎をはじめとして、和洋問わず多くの建物の屋根材(スレート)として親しまれてきました。深い純黒色、経年で増す美しさ、数多の歴史的建造物を彩ってきた物語、石を操る職人の技。雄勝スレートが魅せる世界を一緒に学んでみませんか。

講師紹介

阿部 正 氏

1970年宮城県生まれ。東北工業大学非常勤講師。ノーマルデザインアソシエイツ(建築設計事務所)主宰。建築設計・農村計画を専門に、石巻市雄勝で天然スレートの試験生産に取り組んでいる。国産天然スレート試験生産プロジェクト世話人等を歴任。

佐々木 信平 氏

1947年宮城県生まれ。信玄石盤工房主宰(宮城県石巻市)。石盤葺職人・国選定保存技術(石盤葺)保持者。15歳の頃より大工職に就き、37歳で石盤葺職人に転向。2017年、長年の石盤葺技術の研鑽と文化財保存への貢献により旭日双光章を受章。文翔館のスレート屋根の保守整備を担う。

文翔館の石屋根を語る

おがっ

雄勝スレートを戴く建造物

お電話かFAXにて下記の連絡先までお申し込みください

電話 023-635-5500

FAX 023-635-5501

参加申込書 (FAX)

複数名の場合も合わせて1枚にご記入ください

氏名	年齢()才
住所	
電話番号	

- 参加は申込制、先着順です。**申込締切 10月4日(火)**
- 申込人数が上限に達しご参加いただけない場合のみ、事前にお電話にてご連絡をいたします。
文翔館(023-635-5500)からの電話を着信できる設定にしてください、お待ちください。
- 文翔館の無料駐車場は数に限りがございます。満車の場合は文翔館東側の県営駐車場(有料)など、近隣の駐車場をご利用ください。
- 新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、開催中止・延期の可能性がございます。事前に当館ホームページやお問合せにて最新情報をご確認ください。当日はマスクの着用、手指消毒、換気等にご協力をお願いします。
- 参加申込書に記入の情報は、本事業以外の目的に使用することはありません。

●お問い合わせはこちら

山形県郷土館「文翔館」文化振興部

住所：山形市旅籠町3-4-51 電話：023-635-5500